

# 住まいが被害を受けたとき最初にすること

災害で住まいが被害を受けたときは、あまりのショックに、何から手を付けたらいいかわからなくなるかもしれません。被災者の方々が一日も早く日常の生活を取り戻せるように、行政も様々な支援に動き出します。それらの支援も受けながら、一歩ずつ再建を進めていきましょう。その支援を受けるためにも、被害状況を写真で撮るようにしましょう。

## 家の被害状況を写真で記録しましょう

片付けや修理の前に、家の被害状況を写真に撮って保存しておきましょう。町から罹災証明書を取得して支援を受ける際や、保険会社に損害保険を請求する際などに、たいへん役に立ちます。

**ポイントは、家の外と中の写真を撮ることです。**

### 家の外の写真の撮り方

- カメラ・スマホなどでなるべく4方向から撮影しましょう。
- 浸水した場合は、浸水の深さがわかるように撮影しましょう。

※メジャーなどをあてて「引き(全体がわかるように離れて撮影)」と「寄り(細部がわかるように接近して撮影)」の写真を撮ると、被害の大きさが良くわかります。

### 家の中の写真の撮り方

- 被災した部屋ごとの全景写真を撮影しましょう。
- 被害箇所の「寄り」の写真を撮影しましょう。

<想定される撮影箇所>

内壁、床、窓、出入口、サッシ、ふすま、障子、システムキッチン、洗面台、便器、ユニットバスなど

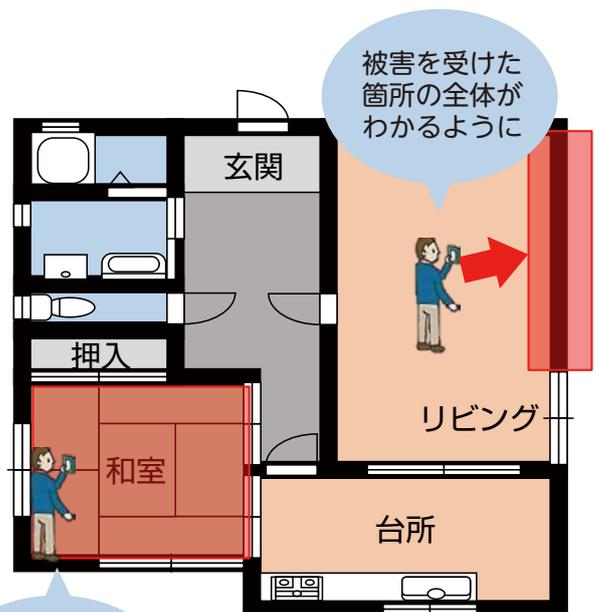
### <イメージ図>



浸水の高さがわかるように

カメラ・スマホなどで4方向から撮影しましょう

★被害を受けた部屋・箇所は全て撮影しましょう。



被害を受けた箇所の全体がわかるように

被災した部屋ごとに全景を撮影しましょう